

【別添】「ひょうごビジョン2050（案）」への意見と県の考え方（全体）

R4.2.2

No.	項目	意見	県の考え方
第1部 基本事項			
1	1 ビジョンの役割	県行政だけのビジョンではなく、事業者や団体を含む県民すべてが共有できる・すべきビジョンとすべき。	【記載済み】 「基本的な性格」に記載済みです。
2	1 ビジョンの役割	実現に向けて県民が自由に創意工夫し、チャレンジする。それを県行政は積極的に応援するというを根本原則として書くべき。	【反映】 本文に「県はそうした取組を促し、支えます」と追記しました。
3	1 ビジョンの役割	「ビジョンの役割」「5つのめざす社会」「実現に向けて」等を全県で共有することは「誰もがいきいきと活動できる舞台」をつくることにつながる。	【記載済み】 末尾の参考に記載の通り、県全体の骨太な将来像を示す全県ビジョンと一体的に9つの地域ごとの地域ビジョンの策定を進めており、全県ビジョンの内容はすべての地域と共有しています。
4	2 社会変化の潮流	以前は大目に見られていた男尊女卑や年長者による若い人への抑圧的な態度が社会的に許容されなくなってきたという変化は非常に重要であり、潮流の1つとして明記した方がよい。	【反映（別途対応）】 そうした社会変化のデータを今後整備する新ビジョンのポータルサイトの基礎データ集に掲載予定です。
5	2 社会変化の潮流	「人口が減っても豊かな兵庫をつくる」の「豊かな」はどういう意味か。「人口減少＝衰退のステレオタイプの発想を改め」とあるが、減少しているのだから「乏しく」（豊かな対義語）となると考えるのが一般的であり、十分な解説がないと理解できない。	【その他】 本文に記載の通り、人口減少は不可避であり、人口が減少する中でも質の高い豊かな暮らしが営まれる兵庫をつくっていく必要があります。そうした観点から第2部のめざす姿を示しました。今後作成する冊子やポータルサイトの中で、人口が減る中でも豊かに暮らせる社会の展望を分かりやすく示していきたいと考えています。
6	3 兵庫の強み	「進取の気風」と「進取の気性」には、どのような違いがあるのか。解説が必要ではないか。こだわりがなければ統一してはどうか。	【その他】 気風は「ある集団や地域内の人々が共通に持っている気質（広辞苑）」、気性は人それぞれの「生れつきの性情（広辞苑）」という意味で使い分けています。
7	3 兵庫の強み	「五国の個性」はもっと内容を厚くしてほしい。人口、面積、天候、交通機関、特産、観光地など、五国の違いや良いところ、難点等、以降のページを読み進めるにあたり前提をしっかりと置いておくのが良いのではないかと。県民としてもここはもっと知りたいし、知ってほしい。	【反映（別途対応）】 紙面の制約から追記困難です。今後整備する新ビジョンのポータルサイトに基礎データ集や様々な県民の声など関連情報を掲載予定です。その一環として五国の個性を紹介するコーナーを設けることも検討します。
8	3 兵庫の強み	「①高度なものづくり産業」と「②多彩な地場産業」は、表現が曖昧であり、あえて分けるのであればカテゴリー一名を明確にした方が良いのではないかと。	【その他】 本文にそれぞれの内容を書き分けており、それほど曖昧な表現ではないと考えますので、原案を維持します。
9	4 策定の視点	自由主義社会で活気ある社会を維持するためには健全な「競争」は必要だと考える。二者択一的な記載にしないでよいのではないかと。	【反映】 「人と人のつながりを育み、共に歩む「包摂」を」と改めました。
10	4 策定の視点	「包摂」について、聞き慣れない言葉でピンと来ない。もっと聞き慣れていて誰もがピンとくるワードの方が良いのではないかと。	【反映（別途対応）】 今後整備する新ビジョンのポータルサイトに用語解説を掲載予定です。 なお、「包摂」は欧州諸国や国連などの国際機関で社会政策の基礎的な理念として確立した言葉となっています。日本でも近年政府文書に「包摂」が使われており（例：平成30年版厚生労働白書第1部第4章「包摂と多様性がもたらす持続的な社会の発展に向けて」）、日本社会にも浸透してきていると考えます。「包摂」は新ビジョンのめざす姿を端的に表す言葉の一つであり、新ビジョンのキーワードとして取り上げることで、県民の皆様の認知度を高めていきたいと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。
11	4 策定の視点	「包摂」という言葉はあまり身近な概念ではなかった。「包摂」という言葉で表現するならば、ここでいう「包摂」の意味合いを注釈記載するなど補足してはどうか。	

No.	項目	意見	県の考え方
12	4 策定の視点	目の前の「効率」よりも長期的な「持続」をどのように「目の前」に対する対義語を入れる方がしっくり来る。	【反映】 「持続」という言葉に「長期的な」の意味合いが含まれると考えます。また、この言葉は、一個人や一企業の視点からの部分最適よりも、もっと大きな視点から全体最適を考えることが大切であるという趣旨も込めて記載しています。ご意見も踏まえて「未来を担う次代のために社会の「持続」を」と改めました。
13	4 策定の視点	開放性はいいと思うが、外へ出て行ってしまうイメージがある。開かれるだけでなく循環、回帰性、サステナビリティにも言及すべき。	【記載済み】 めざす姿⑭に人の「循環」の重要性を踏まえた将来像を記載しています。例「周りで楽しく生きる大人を見て育った子どもが大人になっても地域と関わり続けています」
14	4 策定の視点	「開放性」という特色はいい。外から来た者としても感じられる。外部を受け入れる・取り込む気質は一つの文化であり、売り。	【記載済み】 兵庫の強みである開放的な地域性を活かせるという意味でも「開放性」をキーワードに描き、取り組むビジョンにしたいと考えました。
15	4 策定の視点	「開放性」を大切なマインドにした根底には、「開放されていない」という思いがあるからなのか。「開放性の高い社会への強い願い」は現状が開放性が低いように読み取れるが、「兵庫ならではの強み」とも記載があり、現在の立ち位置がよく分からない。対外もそうだが五国間の開放がもっと必要ではないか。「兵庫」単位で考える癖は根付いていない。	【その他】 開放的な地域性は兵庫の強みであると考えていますが、県民との意見交換では特に若者や女性から地域には今でも閉鎖的、因習的と感じられることが多くあるとの声もありました。そうした県民の想いを受け止める形で「開放性」を大事にしたいマインドと位置づけています。
16	4 策定の視点	「開放性」という言葉は、チャレンジ力あるいは心の連想の広がりや拡散的思考、芸術的感受性のことを表現しているのではないかと考えるが、なじみがうすく、「開放性」という言葉を、「解放感のある」または、「開放的」という意味合いで受け止める方が多いのではないかと。兵庫ならではの強みとするならば、「開放性」の意味合いをもう少し明確にした方がよいと感じた。私案だが、「多様性を認め合う気持ち」「身の回りすべてに感謝する気持ち」などを考えた。	【反映】 「開放性」の意味合いは、本文の「県民の想い」以下に記述しています。「開放性」の意味合いをさらに明確にする観点から「伝統的な価値観も大切し、対話を通じて互いに認め合う、他者に寛容な社会」「その実現に向けて対話を重ね、みんなで合意形成して取り組む」と追記しました。
17	4 策定の視点	人のつながりが希薄になっている今だからこそ、人や地域や社会とつながり、人生100年時代を豊かに生きてほしい。	【記載済み】 ご意見のような視点を持って策定を進めてきました。具体的には第2部めざす姿の主に「Ⅲ誰も取り残されない社会」にそうした趣旨の将来像を記載済みです。
第2部 めざす姿			
1	2050年の兵庫の姿	2050年の兵庫の姿の『躍動する兵庫』は、令和3年7月の県知事選挙で齋藤知事が使用されたキャッチコピーから来ていると思うが、今後約30年間知事が変わる可能性はないのか。今後、県知事選挙の度に新たな候補者が出馬すると思われる。彼ら・彼女達は差別化のために別のキャッチコピーを掲げる中で、一候補者のキャッチコピーを「県民が共になりたい姿を描くビジョン」としても、共感を得られないのではないかと。	【その他】 新ビジョンは「県民が共にめざす姿を描くビジョン」「県民が主役になり、地域から取り組むビジョン」であると同時に、県政の羅針盤ともなるものであり、県民だけでなく県民に選ばれた知事、県議会の意向も反映したものとなります。「誰も取り残されず、みんなが希望を持って生きられる」という意味での「包摂」と「思い思いのチャレンジができて、一人ひとりの可能性が開ける」という意味での「挑戦」、この2つを両輪にして「躍動する兵庫」をめざすとする考え方を県民の皆様丁寧に説明してまいります。ご理解くださいますようお願いいたします。

No.	項目	意見	県の考え方
2	5つのめざす社会	「II新しいことに挑戦できる社会」について、「進取の気風」が兵庫県の特徴「開放的な地域性」と矛盾するのではないか。兵庫県が従来から開放的で、進取の気風に富んでいるのであれば、今さら新しいことに挑戦できる社会を目指す必要はない。2050年に新しいことに挑戦できる社会を目指すべきなのは、従来閉鎖的だった社会だと考える。	【その他】 めざす社会の姿として「II新しいことに挑戦できる社会」を描く中で、一人ひとりの可能性が開ける「開放性」を兵庫の強みとして改めて認識し、活かしていくべきだという考え方を示しています。なお、県民との意見交換で特に若者や女性から地域には今でも閉鎖的、因習的と感じられることが多くあるとの声もありました。そうした県民の想いを受け止める形で「開放性」を大事にしたいマインドと位置づけています。ご理解くださいますようお願いいたします。
3	5つのめざす社会	「III誰も取り残されない社会」について、SDGsの“leave no one behind”の和訳であれば、「誰一人取り残さない」と訳するのが一般的ではないか。	【その他】 「誰一人取り残さない」が“上から目線”であるとの指摘もあるため、あえて「誰も取り残されない」と表現しています。
4	めざす姿共通	「例えば」について、語尾が基本的に現在完了形で書かれているが、2021年の現在完了形なのか2050年から見た現在完了形なのか分かりづらい。例えば、「目指す社会が実現すれば2050年は・・・」など少し補足が要るのではないか。	【反映】 目次の上部にビジョンの読み方を追記しました。
5	めざす姿共通	様々なアクション例が本当に素晴らしい。目的に向かっていくのに必要なアクションが具体的であればあるほどとっかかりやすく、明日からでもできそうなアクションがたくさんある。	【記載済み】 ビジョンの実現に向けた一歩を踏み出す足掛かりとなるようアクション例を記載しています。
6	1 自由になる働き方	Twitterで「やりがいの最上級が生きがい」という投稿が流行っていたが、ワークライフバランスの時代の次に、ワークアズライフが来るのではないか。	【記載済み】 「ワークアズライフ」の考え方も参照しながら、めざす姿①を記載しています。
7	1 自由になる働き方	働くために住む場所を選ばなくて良くなるという意味での「住む場所」が含まれていることもどこかに入っていると良い。アクション例などでも良い。	【反映】 右下線部を追記しました。「仕事内容やライフスタイルに合わせて働く時間と場所や住まいを選ぶ働き方」
8	1 自由になる働き方	年取の低下など、雇用の流動化がもたらす弊害について、あまりに楽観的にすぎるのではないか。特に、企業経営の観点から言えば、非正規雇用の増加は、企業経営を担う人材の流出を招きかねず、企業の中長期的な成長の妨げになるのではないか。「ジョブ型雇用の普及など、専門性と能力に応じた多様な働き方が普及する」程度の表現に留めるべきではないか。	【反映】 右下線部を追記しました。「雇用の流動化に対応した学び直しや職業訓練の仕組みが整い、多様な働き方が尊重される中で安心して暮らせませす」
9	1 自由になる働き方	働き方の自由度を求めて働く時間を減らすのであれば、労働者の給料を上げなければならないので、そのためには安易に単純労働のための移民を入れないようにして頂きたい。初期費用はかかっても、大規模な機械の導入やデジタル化等で効率化をするのが良い。五国の特性を生かしていくなら、その特性を失ったり諦めたりしなければならなくなる程の大規模な移民政策には、兵庫としては受け入れない事を望む。	【その他】 外国人県民が徐々に増えていく想定のもと、めざす姿③世界へ広がる交流を示しています。「大規模な移民政策」は国政の問題ですが、当分の間行われることはないと思っています。
10	1 自由になる働き方	正社員から非正規雇用労働者への置き換えが進み、フルタイムで働いてもまともに暮らせない実態が特に若者と女性の間広がっている。中小零細企業への直接支援を行いながら、最低賃金を1500円程度へ大幅に引上げるように国に意見を上げること。	【今後の参考】 実態の把握も含めて、今後の取組の中で留意していきます。

No.	項目	意見	県の考え方
11	2 居場所のある社会	社会に参加するハードルを低くして頂きたい。ちょっとしたイベントやお稽古事などに参加するハードルを下げ、子供からシニアまで気軽に社会と関わることが出来る仕組み造りが欲しい。例えば、募集要項の内容に年齢を入れない、友達と一緒に参加してください、等の内容であること、また、地域の公民館で「ちょっと覗いてみようかな？」と思えるイベントを開催して、誰も取り残されない社会をめざしたい。	【反映】 「公民館などの施設をもっと使いこなそう」を「誰でも気軽に参加できるイベントを地域で開催しよう」に改めました。
12	3 世界へ広がる交流	「外国人」の表現は他県では減っており、兵庫は少し古いのではないかと。 「外国とつながる方」など2050年を見据えて他県の表現を参考にしたい。	【その他】 本県では、総務省「地域における多文化共生推進プラン」に示されている「外国人住民」を参考に、永住者・定住者のほか、近年増加している留学生・技能実習生等も包括した言葉として「外国人県民」を用いることにしています。これに合わせて、このビジョンでも県内で暮らす外国人のことを「外国人県民」と表しています。
13	3 世界へ広がる交流	「国内外からの来訪者」も大切だが、兵庫県民が兵庫県内をもっと訪れてもっと知って五国全土に愛着が持てる未来も大切ではないかと。	【記載済み】 第1部基本事項3兵庫の強みの「五国の個性」に「県内での活発な交流が新たな力を生み、兵庫に活力をもたらす」と記載しています。めざす姿④や⑭でもご意見の趣旨を記載しています。
14	3 世界へ広がる交流	外国人労働者に依存しない兵庫へ。県としては技能実習制度は廃止、または実習生が送り出し機関と受け入れ機関から搾取される現在のシステムの根本的な改善を要求する立場を取って頂きたい。高度な専門性を持たない単純労働の移民を受け入れない（高度人材特定技能1号の規制緩和をしない）ことが必要ですし、移民の数等の厳格な規制や調節をするなど、対策を検討いただきたい。	【その他】 ご意見として承りました。
15	3 世界へ広がる交流	自国を大切にしない者が本当の意味で外国を大切に思う事は難しいと考える。日本国民としての軸やアイデンティティが不安定になるような事を避けるためにも、学校教育の改革を求める。「海外留学に挑戦しよう」海外留学は素晴らしい経験だが、今のままでは日本は恥をかく。日本人が自然と日本に愛着や誇りが持てる教育や啓蒙が必要である。	【記載済み】 「摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国の個性に磨きがかかり、子どもから大人まで、地域に対する誇りと愛着が強まっています」「ふるさとへの愛着を持ちながら、世界中を自在に行き来する人が増え」などと記載しています。
16	3 世界へ広がる交流	多様性の社会、少子化対策と言って移民政策へ誘導しようとする財界の人達もいるが、少子化を解消する方法は他にもあり、現実的にはメリットよりもリスクがはるかに上回ると予想できる。科学的根拠や合理性がありませんので、兵庫県にはぜひ大胆な機械化やデジタル化の推進の先陣を切って頂き、少ない人口でも安全に回せる、新しく豊かな社会を目指して頂きたい。	【その他】 ご意見として承りました。
17	3 世界へ広がる交流	多言語対応は、基本的に英語だけにしたい。導入が進んだ他県からも、コストが掛かるだけで視認性も悪く、あまり意味がないという声が多いようですし、合理的なメリットも特にないので不要。駅などでは高齢者にとっても非常に見にくく、バリアフリーではない。（デジタル化による手動での多言語切替は良いと思う。）	【その他】 ご意見として承りました。

No.	項目	意見	県の考え方
18	4 みんなが学び続ける社会	不安定、不確実、複雑、曖昧な時代が到来するであろうことは、理解できる。問題を「発見」する力、「本質を見抜く力」が求められることも同感。ただ、問題を「解決」するよりもという表記はいかがか。「個性の尊重」「対話を重視した探求型の教育」「体験活動の重視」「交流活動の活発化」等、ひょうごの教育で実践されてきた「生きる力の創造」そのもの。こういった教育を積み重ねる中で、ひょうごの子どもたちには、失敗や挫折を味わいながらも、問題を「解決」する力や課題を「解消」する力の育成を求めたい。	【反映】 「問題を解決するよりも「発見」する力」を「問題解決に加えて問題を「発見」する力」に改めました。
19	4 みんなが学び続ける社会	子ども同士が「認め合い」を基本としたスタンスを持って学べる教育の場であってほしい。大人が正解を決めない、正解だと教えない教育が理想的。正解・不正解思考から抜け出して、自分でした判断を「これで良い」と思える行動を後付けしていくんだという思考になっていければ幸せな世の中になるのではないか。	【記載済み】 ご意見のような視点も持ちながら「無意識の思い込みを自省し、決めつけずに対話し、待つことができる大人が増え」「対話を重視した探求型の教育が行われています」と記載しています。
20	4 みんなが学び続ける社会	先生を大幅に増やす。とにかく人手が足りてない。そのせいかメンタル不調の先生が多い。子供の教育が一番大事。もっと税金を使ってよい。	【記載済み】 めざす姿④で、学校・家庭・地域で子どもの自発性を育むことの大切さや、学校だけでなく社会全体が学びの場となる将来像を記載しています。また、めざす姿⑧で「子育て・教育を家族任せにせず、社会全体で手厚く支援しています。質・量ともに充実した保育・教育サービスがあり」と記載しています。
21	4 みんなが学び続ける社会	5教科の授業はまず全学校共通の動画で実施。応用やつまづいたところを個々に先生がみる形に。	【記載済み】 「ツールとしてICTを最大限に活かしつつ、学校・家庭・地域で対話を重視した探求型の教育が行われています」と記載しています。
22	4 みんなが学び続ける社会	高校受験の内申書を廃止。少なくとも比重を軽く。これで中学校生活が明るいものになる。	【その他】 ご意見として承りました。
23	4 みんなが学び続ける社会	高校が大学受験の予備校みたい。もっと興味や適性に応じて学びたいことを学べるようにする。	【反映】 興味や適性に合った学びについては「子どもの個性を伸ばすことに注力」「幅広い体験活動」「自分に合った場所で安心して学べます」など記載済みですが、高校に関する記述がありませんでしたので「高校の特色化がさらに進み、義務教育終了後の選択肢も広がっています」と追記しました。
24	4 みんなが学び続ける社会	先生方を部活の指導から解放する。部活は地域の大人に委ねる。できる人はたくさんいる。	【記載済み】 子どもの学びに地域がより深く関わる方向性を示しています。学校部活動への地域人材の活用は既に進んでおり、今後一層広がっていくと考えています。
25	4 みんなが学び続ける社会	中学校や高校で地域の大人が先生になる授業をたくさん実施。インパクトのある話ができる人はたくさんいる。	【記載済み】 「地域の大人と対話する機会が豊富にあり、社会全体が学びの場になっています」と記載しています。
26	4 みんなが学び続ける社会	地域との連携をセッティングすることに先生が忙殺されるのは本末転倒なので、そういうことを調整する人を雇う（地域の人のアルバイトになる）。	【今後の参考】 各学校が地域との連携を深めるに際しての一つの課題と認識しています。
27	5 わきあがる挑戦	市民活動はすべての柱に関連する。特に「Ⅲ」のセーフティネットの側面は重要。	【記載済み】 市民活動の重要性は今後一層増すという観点から「県民が主役になり、地域から取り組むビジョン（第1部基本事項）」「一人ひとりの県民が足元の地域の課題に目を向け、身の回りから解決に向けた行動を起こし、地道に取り組む必要があります（第3部実現に向けて）」など関連の記載を随所にしています。

No.	項目	意見	県の考え方
28	5 わきあがる 挑戦	県民が「まだ社会にないもの」にチャレンジしようというのが、経済面ではベンチャー・スタートアップであり、社会面では非営利団体・市民活動。後者は、5つの側面すべてに関わるという幅広さを持つ。その複合的で広汎な機能を認め、積極的に応援するという姿勢を、どこかに大きく明記してはどうか。	【反映】 第1部基本事項1ビジョンの役割「県民が主役になり、地域から取り組むビジョン」の節に「県はそうした取組を促し、支えます」と追記しました。 なお、非営利活動の「複合的で広汎な機能」については「福祉、子育て、文化や環境保全など、幅広く民間非営利団体の活動が展開され」と表現しています。
29	5 わきあがる 挑戦	県民のチャレンジや助け合いを県民自らが浄財で支えようということも県民の主体性の発露であり、地域課題への参加の一様態。市民活動や非営利活動は、当然、市民・県民の自発性（寄付やボランティア）によって支えられるところが大きいと、寄付文化の振興は市民活動の促進の重要な一部。これを県として大いに応援するというビジョンを示してはどうか。	【記載済み】 「それらの活動を応援する寄付文化も広がっています」と記載済みです。また、県の役割については、第1部基本事項1ビジョンの役割で「県民が主役になり、地域から取り組むビジョン」の節に「県はそうした取組を促し、支えます」と追記しました。
30	7 みんなが生きやすい地域	8行目「学ぶことができます」は、学ぶこと「が」が脱字。	【反映】 修正しました。
31	7 みんなが生きやすい地域	わが県が「女性にとって選んでもらえる地域」かどうか。これはこれから30年の本県の繁栄にとってとても重要な事項ではないか。「めざす姿⑦」に「性別に関わらず」があるが、取り扱いのレベルを大きく上げるべき。	【反映】 めざす姿①で「年齢、性別や働き方による不合理な待遇差がなく、一人ひとりの状況に応じて働き方を選べる環境が整い、すべての人が生き生きと活躍しています」と、めざす姿⑧で「性別に関わらず子育てをしながら社会の中で能力を活かして活躍することができ、安定した生活を送ることができます。結婚、出産、育児が仕事のキャリア形成と両立しています」と記載を充実させました。 なお、女性活躍については、新ビジョンの検討を行った若手有識者の研究会で「現時点できていないとおかしい話。長期ビジョンに入れる話ではない」との指摘があり、有識者ヒアリングでも「女性だけ特出しして記載することに違和感。その発想自体が男性視点」といった意見があったことから、全体を通じて、女性を特出しせず、性別に関わらず、すべての人が自分らしく生きられる社会をつくるという書きぶりにしています。
32	7 みんなが生きやすい地域	「障害」は人を指すのであれば「障がい」に改めた方が良いのではないかと。壁やハードルの意味であれば確かに「害」かもしれないので「障害」でも良いが、この書き方であれば一般的に「障がい者か健常者かに関わらず」という表現に聞こえるので、「がい」はひらがなが良いのではないかと。	【その他】 害の字をほかの漢字やひらがなに変えることは、「障害のある方に害があるのではなく、障害のある方が生活する上で未だ差別や偏見など様々な障壁が残っているという社会の側の問題」を却って曖昧にしてしまうことにつながると考えています。将来的には、「障害」に代わるより適切な言葉が使われることが望ましいと考えていますが、それまでの間は、「障害」の表記を用いながら、障害のある方が社会で当たり前のように生活ができるような施策の充実や差別解消のための啓発に努めていくことが重要であると考えています。
33	7 みんなが生きやすい地域	ほんの少し相手の思いを知る事で物の見方やそれに対する感情がくると変わるという体験をして、人は皆、相手の立場に立っているつもりで生きているんだと痛感し、話し合う事や意見を交換する事が大事だと痛切に感じた。ジェンダーギャップやジェネレーションギャップもコミュニケーションを取り、お互いの考えと気持ちを知り共感する事で埋められていくのではないかと。	【記載済み】 「対話を通じて異なる文化や価値観を持つ人への理解が深まり、すべての人の人権を尊重し他者の立場に立って考える力が育まれています」と記載しています。

No.	項目	意見	県の考え方
34	8 安心して子育てできる社会	「結婚、出産、育児によりキャリアが途切れることはありません。継続的に安定した収入を得ることができ、経済的不安を抱えることなく、・・・」はとても理想的。雇用形態にかかわらず、個人事業主でも保障がある未来を希望する。	【反映】 めざす姿①に「年齢、性別や働き方による不合理な待遇差がなく」「個人事業主として生きていく人が増え、複数の仕事で経済的に自立する人も増えています。雇用の流動化に対応した学び直しや職業訓練の仕組みが整い、多様な働き方が尊重される中で安心して暮らせます」と、めざす姿⑧に「性別に関わらず子育てをしながら社会の中で能力を活かして活躍することができ、安定した生活を送ることができます」と記載を充実させました。
35	8 安心して子育てできる社会	子育て支援については、具体的に子どもの医療費の高校卒業までの無料化や、小学校・中学校の給食の無料化など県のイニシアティブで実施すること。	【今後の参考】 市町によって対応に差があることは一つの課題と認識しています。
36	9 安心して長生きできる社会	兵庫のビジョンとしてはベーシックインカムの考え方はないのか。	【その他】 ベーシックインカムは大きな論点であり、新ビジョンの検討の中でも議論しましたが、財源確保の問題が大きく国民的議論を深める必要があるため、「ベーシックサービス」の考え方を紹介するコラムを掲載するに止めました。
37	9 安心して長生きできる社会	将来計画として、日本版CCRC (continuing care retirement community) 都市、ならびに医療・介護・福祉の面で「傑出した都市」を目指すべきである。まずは、高齢者が憧れる赤穂の魅力を大いに発信することにより、比較的裕福で元気な高齢者の移住を喚起し、CCRC都市の形を作る。これに属する各住宅と医療機関や援助センターとを光ファイバーで結んでサポートならびに情報のやり取りをするなどして、高齢者が便利で安心して楽しく暮らせるようにする。次に、医療機関、福祉大学、電気機械メーカーの協力を得て、情報通信技術 (ICT) やロボット、人工頭脳などの活用により、医療、介護、ヘルスケア、生活支援等の面で世界のトップレベルの都市づくりを目指す。さらに、これらの研究教育を担う機関の増設と、在宅看取りを視野に入れた、ケア充実度の高い住宅群の開発を行うならば、赤穂は「終の棲家」都市へと進化を遂げるであろう。	【今後の参考】 安心して長生きできる社会の具体化に向けた取組の一例として今後の取組の参考にさせていただきます。
38	10 循環する地域経済	公民連携とあるが、従来の表記では官民連携が主流だと思う。あえて、「公」と記載したその理由は。公と民の間に中点を入れないのは。「公民」は熟語で意味がある。	【その他】 PPP (Public Private Partnership) の訳語としては「官民連携」「公民連携」のいずれもが用いられています。本県が2021年10月に立ち上げた公民連携プラットフォームは「公民」を使っています。このビジョンでは、単なる主体である官 (行政) と民 (民間) の連携ということではなく、「公益」を行政だけでなく多様な主体が一緒になって達成することをめざすという意味を込めて使っています。 なお、「官」「民」を主体に関する区分とし、「公」「私」を目的に関する区分として説明を与える研究があり、「主体」に着目する場合に「官民連携」が使用され、公益という「目的」に着目する場合には「公民連携」が使用されることが多いようです。

No.	項目	意見	県の考え方
39	11 進化する御食国	きれいな海から豊かな海にする為の国が指導する海水の改善であるが、西播磨での牡蠣の養殖生産も安定期から衰退期に向かっている。中でも課題は販売価格の低迷と人で不足と生産性（歩留まり）にある。労働者不足と歩留まり向上策として情報通信技術（ICT）水中ドローンやロボット、人工頭脳などの活用により持続可能で収益向上可能な漁業を目指す。他地域ではNTTドコモや東大が地元漁業関係者と共同実証実験中である。行政からは環境づくりと情報発信を行い、資金面で支援する。	【反映】 アクション例に右下線部を追記しました。「法人化を進めよう。スマート農水産業に取り組みよう」
40	11 進化する御食国	人が多様化すれば犯罪も多様化する。農村で外国人の犯罪グループによる盗難が増加し、品種も盗まれている。「農業経営の法人化・大規模化や企業参入が進んでいます。オリジナル品種のブランド化や加工品開発、農家レストランの運営など6次産業化により小規模でもきらりと光る生産者も活躍しています。」とあるが、農業を育てるなら更なる犯罪対策は必須。	【その他】 ご意見として承りました。
41	11 進化する御食国	地方の人口減が激しいので、農業・漁業で若者が食べていける状況をつくらなければならない。県として具体的に援助を行うこと。	【記載済み】 ご意見のような視点を重視してめざす姿⑩の全体を構成しています。
42	12 活動を支える確かな基盤	現在と同じように、50年後も高齢化率は上昇し続け、2060年ごろには40.0%位に達している。交通事故の多発・病院通い・買い物等インフラ整備の充実を行うべき。	【記載済み】 「あらゆる地域で移動手段が確保され」「犯罪や事故の少ない安全な地域」など記載済みです。
43	12 活動を支える確かな基盤	「犯罪の少ない安全な地域になっています。高度なセキュリティ対策により、社会経済活動が活発に行われるバーチャル空間の安全性も守られています。」他の移民国家を見ると、もし外国人を大量に入れてしまえば、従来の性善説寄りの法ではとても対応できなくなってしまう可能性が高い。初めから安易に単純労働の外国人を入れず、日本語能力と専門性の高い外国人のみを受け入れるようにして頂けないか。	【その他】 ご意見として承りました。
44	13 カーボンニュートラルな暮らし	「豊かな森が甦り、野生動物と人の営みの共存が進む」について、一般的には開発などによって野生動物の生息域減少していると思われがちだが、実際は拡大の一途で、兵庫県においても例外ではない。近年で最も森林は豊かな状態で、中山間地域では野生動物との軋轢が深刻化するほどであり「豊かな森が甦り」という表現は不適切である。「豊かな自然環境が維持され」とすべき。	【反映】 「例えば」の記載は維持しますが、本文は「豊かな森の再生により野生動物の本来の生息域が甦っています。野生動物の保護管理の仕組みも整い、人の営みとの共存が実現しています。森や草原の生態系が保全され、イヌワシが空を舞っています」と改めました。
45	13 カーボンニュートラルな暮らし	「豊かな森づくりが進み」を「豊かな自然環境が維持され」とし、「野生動物の生息域が甦っています」は過去最大に生息域が広がっている現代においては不適切な表現であるため、生態系サービスを堅持する意味からも「生物多様性が守られています」とすべき。同時に「森や草原の希少種が保全され」についても保全すべきなのは希少種ではなく生物多様性そのものであるため、「森や草原等の生態系が保全され」とすべき。	

No.	項目	意見	県の考え方
46	13 カーボンニュートラルな暮らし	「水素社会が実現し、エネルギー自立の地域が広がる」とあるが、自立とはどの程度まで意味しているのか。エネルギーの需給バランスの安定という意味ではまったく異論ないが、自給自足の方向性を旨とするとは異なるように思う。	【その他】 できる限り化石燃料に依存しない社会をつくる方向性として「エネルギー自立」と記載しています。太陽光、風力等の再生可能エネルギーだけでは必要なエネルギーをすべて賄うことは難しいため、多様なエネルギー源を組み合わせて利用する必要があり、その中で水素の存在感が高まっていく将来像を示しています。
47	13 カーボンニュートラルな暮らし	地域に新たな環境問題は生じていないかと言った身の回りの環境問題への不断の注意喚起を続ける必要がある。	【今後の参考】 今後の取組の中で身近な地域の環境問題にも留意していきます。
48	13 カーボンニュートラルな暮らし	「大量に生産、消費、廃棄する時代は終わります」に大賛成。外国産の強制労働や安い労働賃金でコストを下げたような安価な製品をすべてブロックして、質の高い製品を国内生産をするぐらいの気概が必要だと思う。新型コロナウイルスの流行によって、外国産（海外の工場）に依存する事の危険性も露わになりましたので、徐々に国内回帰をする方向に舵を切って頂きたい。	【その他】 ご意見として承りました。
49	13 カーボンニュートラルな暮らし	再生可能エネルギーについては、ウイグルの方々等の強制労働によって作られた上に、災害や自然破壊に繋がるため本末転倒であるメガソーラーや、ソーラーパネルを使わないようにするなど、真っ当な路線を貫いて欲しい。国民はSDGsの欺瞞や矛盾に気付き始めていますし、国際社会の自己利益本位な安易な扇動には惑わされず、兵庫は真に誇れる循環型社会を目指して欲しい。	【その他】 ご意見として承りました。
50	14 分散して豊かに暮らす	空き家があっても、所有者は資金不足から、時代にあった住環境にリフォームして利用促進する現状にない。解決策として、業者・提供者・行政支援の仕組みを作り、地域にあった住環境にリフォームし新規定住者を呼び込む。又独居老人宅に大学の学生を廉価で同居させるようにする。さらに市営住宅や企業の空き家宅なども利用し、市および大学が間に入るような形で同様なシェアハウスにする。大学も学生がより楽しく活動できるようにイベントなどを工夫する。	【今後の参考】 空き家を活用した魅力的な暮らしの具体化に向けた取組例として今後の取組の参考にさせていただきます。
51	14 分散して豊かに暮らす	赤穂スポーツの森について、グリーンベルトを利用して、スケートボード施設を設置し、本格的なスケートボードが楽しめる施設と指導者を増やし、オリンピック予選の競技なども行えるようにする。	【今後の参考】 賑わいを生むオープンスペースを増やす取組例として今後の取組の参考にさせていただきます。
52	14 分散して豊かに暮らす	兵庫県では、南海トラフ等の有事が発生しても、住む場所に困らないレジリエンス力の高い、安心・安全で豊かなライフスタイルを過ごせる地域であることを具体的に示していく戦略を図ってはどうか。阪神・淡路大震災の経験と、自然豊かな五国という兵庫県ならではの地域性を融合し、「ワーケーション・二地域居住・多拠点居住」を軸にした、産官学連携の研究会を発足してはどうか。防災・減災の角度から住民に啓蒙や備えを訴求することも大事だが、「ワーケーション・二地域居住・多拠点居住」を軸に、「結果的に防災・減災につながる」というアプローチが、兵庫県の強みも活かせるのではないかと。	【今後の参考】 「ハザードマップをもとに居住地を選ぶ、過密な都市の暮らしを避けるなど、災害や感染症のリスクに強い暮らし方を志向する人も増えています」「都市と多自然地域が近接する県土の多様性を活かしてワーケーションや二地域居住、多拠点居住のライフスタイルが広がり」と記載しています。提案いただいた研究会については今後の取組の参考にさせていただきます。

No.	項目	意見	県の考え方
53	15 社会課題の解決に貢献する産業	脱炭素の問題では、水素は現在、石炭から製造するため、製造時に大量の二酸化炭素を排出する。水素社会ではなく、二酸化炭素排出量の全体の約4割を占める発電時の二酸化炭素排出をなくすために、火力発電所を廃止して、太陽光・風力・小規模水力などの推進に力を入れること。特に火力の中でも二酸化炭素を大量に排出する石炭火力発電所はすぐに廃止すべきと県としての意見を明確にすること。	【今後の参考】 水素の製造段階で発生する二酸化炭素の回収・分離・貯蔵技術の開発と一体的に水素の活用に向けた取組が進められており、水素がCO2フリーのエネルギー源となる可能性に着目して「水素社会」を取り上げていますので、ご理解くださいますようお願いいたします。
54	15 社会課題の解決に貢献する産業	「多様な地域特性が凝縮された「日本の縮図」「兵庫における社会課題の解決に向けた取組が国内外のモデルになっています。兵庫の企業や地域の取組が広く発信され、そのアプローチを学びに国内外から多くの人々が県内各地を訪れています。」まさにその通りだと思う。これは兵庫県にとってチャンスなので、もしもそれを活かさずに、移民政策や、形だけのSDGsや、理にかなわないような事ばかり外国に扇動されて同じ事をしていては、兵庫も日本も衰退していくばかりである。兵庫は科学的根拠に基づいて、理にかなったやり方をお願いしたい。	【その他】 ご意見として承りました。
第3部 実現に向けて			
1	1 基本姿勢	「大切なのは人と人とのリアルな交流であり、人の温もりです。リアルとバーチャルのバランスを考える姿勢が求められます。」という部分が、とても素敵な考えだと思ひ、大変共感した。これから兵庫県の県政を担う皆様に大きな期待をしたい。	【その他】 ご意見ありがとうございます。
2	1 基本姿勢	県政の中心となって働いてくださる皆様方には、躍動する兵庫により一層の力を尽くして頂きたい、そして我々県民も共に試行錯誤しながら応えてゆきたい。	【その他】 ご意見ありがとうございます。
3	先導プロジェクトの推進	各地域で目指すビジョン実現のために県民がどのような場で活動すべきなのが明確には示されていない。各地に根差した、または特徴的な組織を住民自らが考えるべきだが、モデル的な事例を提示して県民が活動のイメージを持ちやすいようにすることは必要ではないか。	【記載済み】 そうした意味合いから15のめざす姿ごとに「アクション例」を記載しています。
4	先導プロジェクトの推進	五国の特徴を生かした先進的な取り組みが進むことを祈念。	【記載済み】 そうした観点から「先導プロジェクトの推進」を記載しています。
5	先導プロジェクトの推進	具体的な先導プロジェクトを早期に推進いただきたい。	
6	先導プロジェクトの推進	日本酒と和菓子のペアリングの活動を行った際に、特定の銘柄などを出してはいけなと指導があった。公平であることも必要だが、積極的に活動を行う枷になる。より良い方法を考えて頂きたい。	【今後の参考】 今後の取組の中で留意します。
7	対話と学びの場づくり	県民にどのように浸透して、共有され、ひろく目指されていくことになるのが、大切なことではないか。	【今後の参考】 ご意見のような観点からこの節の全体を記載しています。今後、多くの県民にビジョンを知ってもらい、主体的な取組につなげてもらえるように対話と学び場づくりやビジョンの広報を進めていきます。
8	対話と学びの場づくり	このビジョンをどのようにして、県民に知ってもらい理解を深め、ともにビジョン実現に向けて歩みをすすめていただくかが重要。小学5年生がわかるような文章で動画やまんがなども含めマスコミやITも駆使してより幅広い層とりわけ次代を担う若者へのアプローチを強めていただきたい。	
9	対話と学びの場づくり	このビジョンやこれからの県の動きなどについて若者も一緒に議論できるような場を作ってください。高校生などと知事の対話集会などもお願いしたい。	

No.	項目	意見	県の考え方
10	対話と学びの場づくり	兵庫県の生涯学習・社会教育の実施内容の中身の無さに愕然とした。時代の変化にあわせて、もっと教育しなければならない知識や情報がある。今もなお、まだ人口増を夢見ている住民（特にシニア層）がたくさんいるが、県民の意識がもっともっと変わっていかないとという危機感を非常に感じている。県の情報発信やメッセージが重要ではないか。	
11	対話と学びの場づくり	兵庫県における住民参加が、よりクリエイティブなものになっていくことを期待している。	
12	対話と学びの場づくり	今後は「ひょうごビジョン2050」の描く姿を、県民に発信する機会を増やし、みんなが関わって「元気なひょうご」にしたい。	
13	推進状況の見える化	活動が始まった場合には、活動の見える化や進行管理のために「PDCAサイクル」の手法を導入すべきではないか。組織外からのチェックや意見を受け付ける窓口を持つことも重要である。	【記載済み】 そうした観点から「毎年度の点検評価」を記載しています。
14	推進状況の見える化	作れば終わりではなく、何が起るかわからない時代なので臨機応変な修正をし、その時々時代に合ったビジョンに進化させていくことを期待している。	【記載済み】 そうした観点から「柔軟な対応」を記載しています。
その他			
1	—	経費削減のためと称して、職員を減らし、民間に丸投げするようなことは行わないこと。	【その他】 ご意見として承りました。
2	—	県庁周辺の再開発についてはコロナを経て中止すべきである。賑わい施設や高級ホテルなどはコロナがなくても人口が減少期に入ったことから成功しない。県庁の建て替えについても中止し耐震補強で現在の建物を使うべきである。	【その他】 ご意見として承りました。
3	—	県民が安心して開放性や挑戦力を発揮できるように、県政は県民を守るしっかりとした土台として国防の強化をお願いしたい。	【その他】 ご意見として承りました。
4	—	中国による土地の購入を厳しく規制していただきたい。	【その他】 ご意見として承りました。
5	—	国防の観点から、孔子学院の廃止をお願いしたい。	【その他】 ご意見として承りました。
6	—	サイバー攻撃の危険性を理解し、企業や県民への啓蒙をお願いしたい。更に、代わりの国産アプリ開発への支援があれば良い。また、中国製品(と中国と関わりが懸念される韓国製品)の使用を停止するように求めて頂きたいです。県内企業や県民を守るためにも、危機感と国防意識の共有が必要だと思う。	【その他】 ご意見として承りました。
7	—	ロシア、中国、韓国をはじめとした特定の外国から受けている情報戦への対応を国に求めて欲しい。	【その他】 ご意見として承りました。
8	—	主に中国の対応によっては日本に甚大な被害が予想されるRCEPの廃止、廃止できないのであれば、加盟国にしっかりと厳しい条件や規制を求め、その条件をクリア出来ない国は直ちに脱会させるよう国に求めて欲しい。	【その他】 ご意見として承りました。
9	—	外国人だからと不起訴が続けば、県民の不満や怒りが爆発します。きちんと法整備をして取り締まること、むしろ日本で暮らす外国人の方々への偏見や差別を防ぐことになり、かつ移民の人数が小規模であれば、両者が守られ、理想的に共生することができるはず。現在の日本にはスパイ防止法すらないので、県としても多方面での法の強化を国へ訴えかけて頂きたい。	【その他】 ご意見として承りました。